

都市計画税の税率について

1 埼玉県内各市の税率適用状況（平成28年度）

税率	市数	割合
0.30%	11市	27.5%
0.27%	3市	7.5%
0.25%	6市	15.0%
0.20%	14市	35.0%
0.18%	1市	2.5%
0.17%	1市	2.5%
0.15%	2市	5.0%
0.10%	2市	5.0%
計	40市	100.0%

埼玉県内の市では、0.2%を適用している市が14市で最も多く、0.3%を適用している市が11市と2番目に多い状況となっています。

【近隣3市の適用税率】

朝霞市 0.2%
志木市 0.18%
新座市 0.17%（平成29年度から0.2%）

※ 東京23区の適用税率は0.3%です。

2 近隣3市における都市計画税及び土木費の状況（H27決算比較）

近隣3市の都市計画税収入と都市計画事業支出の関係性を示すと、以下のとおりです。
なお、埼玉県内の市での比較を可能とするため、「土木費に占める普通建設事業費の額」を都市計画事業費とみなして分析します。
※ 右側の順位は県内順位です。

- (1) 都市計画税収に対して、何倍の「土木費に占める普通建設事業費の額」を支出したかという視点で比較すると？

和光市 2.97倍（8位／40市）【過去7年の平均値：2.23倍】
朝霞市 0.41倍（39位／40市）【過去7年の平均値：0.53倍】
志木市 0.91倍（35位／40市）【過去7年の平均値：0.53倍】
新座市 1.31倍（28位／40市）【過去7年の平均値：1.35倍】

- (2) 「土木費に占める普通建設事業費の額」に対する（都市計画税収を除いた）持ち出し額がどれくらいかという視点で比較すると？

和光市 +約16億7千万円（6位／40市）【過去7年の平均値：+10億1千万円】
朝霞市 -約7億4千万円（39位／40市）【過去7年の平均値：-5億8千万円】
志木市 -約5,700万円（34位／40市）【過去7年の平均値：-3億2千万円】
新座市 +約3億5千万円（25位／40市）【過去7年の平均値：+4億5千万円】

- (3) 「土木費に占める普通建設事業費の額」への持ち出し額が標準財政規模の何パーセントにあたるかという視点では？

和光市 11.46%（2位／40市）【過去7年の平均値：7.06%】
朝霞市 マイナス3.22%（39位／40市）【過去7年の平均値：-2.16%】
志木市 マイナス0.41%（35位／40市）【過去7年の平均値：-2.50%】
新座市 1.24%（29位／40市）【過去7年の平均値：1.66%】

以上のとおり、本市の土木費に占める普通建設事業費の額（≒都市計画事業費）は県内でも高い水準にあり、近隣3市とは比較にならない状況にあることがわかります。